

# 日刊

THE NIKKAN

# 工業

KOGYO SHIMBUN

# 新聞

11月28日 火曜日

2023年(令和5年)

## 米製シールピールピール投入

### 日本金型産業 部品保護材、高い環境性

日本金型産業(東京都品川区、牧元一幸社長)は、シールピール専門の米エバンスと国内総代理店契約を結

び、本格販売に乗り出す。シールピールは切削工具や金型部品などを保管、輸送する際の保護材。国内メーカーが少ない上に1社が撤退したとみられ、需要過多にあるとされる。

取り扱いの要求急増により、輸入販売を決めた。国内大手品の約8割の価格を想定し、年15%の販売を目指す。シールピールは高温で溶かして金属製品を漬けると保護膜にな

▲本格販売するシールピール。刺激臭が少ないのも特徴という

る。本格販売するシールピールは環境性が特徴で、溶かす際の推奨温度が約170度Cで従来品より10度C低く、形成される保護膜の厚さが薄いという。

欧州の特定有害物質規制(RoHS)や化学品規制(REACH)、安全データシート(SDS)に対応。無色透明で微細な加工品なども目視しやすい。12キロ入りと20キロ入りの2種類を用意した。28日に開幕する見本市「I PF Japna」に出展する。

